

# KANSAI Univ. News

2010年  
12月1日  
第389号

## 関西大学通信

*The first issue was published on June 19, 1969 and renewed on October 1, 2009.*

### 高槻ミュージックキャンパスで地震避難訓練を実施

### 第30回「地方の時代」映像祭2010を開催・グランプリ作品が決定

#### ■Kaisers 飛躍

- 射撃部
- アイススケート部
- レスリング部
- 馬術部

#### ■「考動」するゼミ・サークル

- 社会安全学部 越山 健治 准教授
- 関西大学交響楽団





優勝を手に笑顔をみせる射撃部女子団体メンバー

射撃部女子が全日本女子学生選手権大会で2連覇を達成

「どれくらいことをやってくれた」(女川監督)。射撃部女子が10月8日～11日まで行われた全日本女子学生選手権大会で連覇を達成した。最大の目標であった2年連続の5冠達成も果たし、強さを証明した。

50m3 X 20W団体は関大の独壇場となる。井浦美鈴主将(文学部4年次生)、石川令奈さん(文学部4年次生)、松本靖世さん(文学部2年次生)がいずれも560点以上の高得点を叩き出し、2位明大到11点差をつける。しかし10mS 40W団体では苦戦。ポーランドで行われた世界学生選手権に出場した堀抜くるみさん(社会学部3年次生)が391点と高得点を出すも、総合成績は4位となった。

2種目の総合成績の結果、2位の明大到4点差と肉薄されたが、関大は2,857点で優勝を果たした。全国の舞台でも力を発揮し、2年連続で栄冠を勝ち取り、今季も5冠を達成した。個人でも、50m3 X 20Wの井浦主将、10mS 40Wの石川さんが優勝。個々のレベルの高さが団体での好結果につながった。

「優勝して引退できて嬉しい」と井浦主将。見事に有終の美を飾った射撃部女子。真価が問われた今年も強さを維持し続け快挙を成し遂げた。しかし、来年も栄冠を守り抜くために、彼女たちはまだまだ歩みを止めない。



アイススケート部の町田樹さんが急成長

アイススケート部の町田樹さん(文学部3年次生)が急成長を続けている。9月23日～25日(現地時間)、ドイツのオーベンスドルフで行われた「ネーベンホルン杯」で4回転を決めて優勝したのを皮切りに、10月9日～11日に滋賀県で開催された「2010近畿選手権大会」では、織田信成さん(文学部4年次生)に続く準優勝を果たした。

近畿選手権大会のSP(ショートプログラム)では華麗なステップで観客を魅了し、得点は織田さんを上回り1位。会場からは大きな歓声があがった。迎えたフリープログラム。ジャンプではミスもあったが「トータルで思いつきやれたらそれでいい」と納得の表情で演技を終え、見事準優勝を果たした。

波に乗る町田さんは、11月5日～7日、中国の北京で行われた「ISUグランプリシリーズ」第3戦の中国杯にて、5位と存在感を見せ付けた。続く11月19日～21日、ロシア・モスクワで開催されたロシア大会では11位と健闘した。

着実に力をつけ世界に飛び立つ町田さんからますます目が離せない。



ルーキーながら優勝を果たした村上さん

レスリング部が西日本学生選手権大会で快挙

10月9日～11日の3日間にわたり行われた西日本学生選手権大会。増谷剛さん(文学部2年次生)がグレコローマン60kg級、村上貴之さん(人間健康学部1年次生)がフリー74kg級で優勝。さらに6人の選手が健闘をみせ、表彰台に上がる快挙を達成した。

グレコローマンの増谷さんは準決勝まで圧勝。決勝では二階堂研さん(文学部4年次生)との関大対決となった。互いに一歩も譲らぬ戦いを繰り広げるも、結果、増谷さんが2-0で勝利。「優勝できたことは自信になった」と、全試合無失点で抑え、連覇の快挙を成し遂げた。

続くフリーでは、新人戦で優勝を果たしたルーキーの村上さん。初戦から圧倒的な強さで勝ち進み、決勝は立命大の近藤選手。第1P(ピリオド)、第2Pとも延長戦で攻撃権を獲得して勝利し、見事初優勝を果たした。

西日本の舞台で関大のレベルの高さを発揮した今大会。この自信を胸に、12月のリーグ戦では1部昇格が最大の目標だ。彼らの挑戦はまだまだ終わらない。



連覇を成し遂げた増谷剛さん

馬術部が全日本学生賞典障害飛越競技大会で準優勝

馬術部が10月23日と24日に行われた第60回全日本学生賞典障害飛越競技大会に出場し、準優勝を果たした。4連覇がかかった今大会だったが一歩及ばず、表彰台に上がる4人の騎士たちは、悔しさをにじませた。

今大会は、馬場内に設置された障害コースを規定時間内に走行し、その総減点数で競われる。初日は谷脇恭平さん(政策創造学部2年次生)・バーデンバーデンが見事減点0で終え、総減点16となる。明大、帯広畜産大とトップに並ぶものの、合計タイムにより2位で折り返す。

迎えた2日目。なかなか実力を出しきれずに、3人目の有吉隆主将(政策創造学部4年次生)・プログレスを迎える。スピードのある走行で華麗にバーを越えるが、惜しくも終盤の第10番障害を落とし減点。「100%の力を出し切れなかった」と有吉主将。

チームが苦戦を強いられる中、谷脇・バーデンバーデンに4連覇の行方が託された。好調なスタートを切るも、中盤にミスが出てしまい、減点12で終え「エースとしての仕事ができず、申し訳ない」と肩を落とした。結果、1位にはわずかに届かず準優勝。4連覇の夢は絶たれた。

しかし「タイトル奪回」という明確な目標を確立した馬術部は、「人馬一体」となって、再び大学王者をめざす。



(写真提供・編集：関大スポーツ編集局)

KUカレンダー12/1-15

日程	イベント・行事名	主対象	問い合わせ先
1日(水)	国際協力セミナー第4回	学生・教職員・一般	国際部
	会計専門職大学院 教育顧問講演会	学生・教職員・一般	専門職大学院事務グループ
	関西大学シンポジウム講演	学生・教職員・一般	政外オフィス
2日(木)	経済・政治研究所第189回産業セミナー	学生・教職員・一般	研究所事務室
	第2回知的財産セミナー	学生・教職員・一般	社会連携部知財センター
	寄附講座「渋沢栄一記念財団(日中関係と東アジア)」(毎週木曜日開催)	学生・教職員・一般	G-COE 拠点事務室
	法学研究所第89回特別研究会	学生・教職員・一般	研究所事務室
3日(金)	文学部学術講演会	学生・教職員・一般	法文オフィス
	法学部学術講演会	学生・教職員・一般	法文オフィス
	第7回関西・関東10私大 産学連携フォーラム	学生・教職員・一般	社会連携部産学官連携センター・知財センター
4日(土)	関西大学3研究所合同シンポジウム(～4日)	学生・教職員・一般	研究所事務室
	関西大学サタデーカレッジ(～12月18日までの毎週土曜日)	学生・教職員・一般	社会連携部
7日(火)	法学研究所公開研究会	学生・教職員・一般	研究所事務室
	外国語学部学術講演会	学生・教職員・一般	外国語学部
8日(水)	永久寿夫客員教授講演会	学生・教職員・一般	経商オフィス
	柴崎亮介客員教授講演会	学生・教職員・一般	総合情報学部オフィス
9日(木)	東京センター公開講座	一般	東京センター
	寄附講座「渋沢栄一記念財団(日中関係と東アジア)」(毎週木曜日開催)	学生・教職員・一般	G-COE 拠点事務室
	法学研究所第41回公開講座	学生・教職員・一般	研究所事務室
10日(金)	法学研究所第42回公開講座	学生・教職員・一般	研究所事務室
	井村雅代客員教授講演会	学生・教職員・一般	国際部
	三者協働型アクティブ・ラーニングの展開 中間報告会(第4回関西大学FDフォーラム)	学生・教職員・一般	教育開発支援センター
11日(土)	関西大学サタデーカレッジ(～12月18日までの毎週土曜日)	学生・教職員・一般	社会連携部
	文化交渉学教育研究拠点(ICIS)第3回次世代国際学術フォーラム(～12日)	学生・教職員・一般	G-COE 拠点事務室
12日(日)	丹波地域 大学・地域連携4大学合同シンポジウム	学生・教職員・一般	兵庫県丹波県民局丹波土木事務所まちづくり建築課
	人間健康学部開設記念シンポジウム	学生・教職員・一般	朝日新聞社広告局
15日(水)	経済・政治研究所第192回公開講座	学生・教職員・一般	研究所事務室
	作家 玉岡かおる氏による講演会	学生・教職員・一般	国民読書年企画事務局(高槻ミュージックキャンパス)

イベント・行事については、予告なく変更される場合があります。また、今後追加・中止となるイベント・行事もあります。

詳細・最新情報については、本学ウェブサイトならびに問い合わせ先のウェブサイトなどで必ず確認してください。

## 災害被害軽減の最前線を学ぶ

**Q.今回紹介する「社会安全体験実習Ⅰ」の授業内容を教えてください。**

A.災害におけるサイクルは予防、準備、対応、復旧です。これらのうち、準備・対応がどのようなもので、そのための施設の役割は何なのか。また、防災に関する現場の流れを、兵庫県内の災害関連施設を見学し、さまざまな体験学習を行うことにより肌で感じ、社会全体の安全性確保に向けた取り組みを理解するための実習です。

**Q.実習で、特に印象に残ったことは何ですか？**

A.兵庫県広域防災センターで水蒸気を使った



本物の建物を揺らす震動台実験施設 (E-Defense) にて

煙避難体験が印象的でした。暗闇と高温湿の中で、非常口の光を探して簡易な迷路から避難するという体験でした。中に6人のグループで入ったのですが、パニックを起こす人や、立ち止まってしまう人、そして自分自身も焦って同じ箇所を何度も回ってしまいました。疑似体験でさえ、このような状態になってしまうのに、実際の災害時、冷静に避難することがいかに困難であるかを学びました。

**Q.実習で、同じ学部の友人たちと1泊2日の宿泊を体験してどうでしたか？**

A.入学して、約半年が経ちましたが、まだ話したことがない人とも交流を深めることができました。宿泊し、同じ時間を長く過ごすことで、これまで見えていなかった友人たちの側面の発見や新たな出会いがあり、秋学期が始まる前に良い刺激となりました。学習だけではなく、対人関係の面でも有意義な時間を過ごすことができました。

**Q.担当の越山健治先生の印象や人柄を教えてください。**

A.引率していただいた越山健治先生は、事前学習も含め全体をコーディネートさ

眞鍋 友希さん (社会安全学部1年次生)



兵庫県の災害対策本部室にて

れておられました。初めて授業を受けた時は、すごくきっちりしていて、厳しい印象を受けました。しかし、班での活動や実習では、全体をまとめながらも一人ひとりに気を配り、時には優しい言葉や冗談を言って笑わせてくださる父親のような先生です。

**Q.社会安全学部の魅力を教えてください。**

A.社会には多くのリスクや危険があります。社会安全学部では、身近なものから専門的なものまで、一人ひとりが考えるリスクについてさまざまな学問的視点から見るができます。また、新設の学部のため、先生方と私たち学生が一緒になって社会安全学部を作り上げていく、そこに一番の魅力を感じています。

# 考動するクラブ・サークル ● 関西大学交響楽団

## 一音一音に想いを込めて

**Q.主な活動内容について教えてください。**

A.私たち交響楽団は主に夏のサマーコンサート、冬の定期演奏会に向けて、100人を超える仲間たちとともに活動しています。また入学式、卒業式での式前演奏や学外からの依頼演奏など一年中音楽に触れあうことができます。

**Q.活動にあたって心がけていることやポリシーは何ですか？**

A.本年は基本方針に「冒険」を掲げ、団員一人ひとりが音楽に対して積極的に取り組んでい



今年の夏に行われたサマーコンサートでの様子

くことを心がけています。今まで挑戦したことのないことにも前向きに参加し、関西大学文化会の一団体として、地域貢献の精神を持って活動しています。

**Q.このクラブ・サークルの魅力は何ですか？**

A.クラシック音楽とは何百年も前から人々に親しまれてきたものです。その歴史の深さを感じ、表現することは難しいですが、それがまた面白くクラシック音楽の魅力でもあると思います。例えば今回の演奏会では北欧の作曲家であるシベリウスの曲を演奏します。私たちはこの曲を演奏するときに北欧人の気持ちになり、音楽を表現します。私たちは日本にいながら世界を旅している気になれるのです。あとクラシック音楽とは関係ないですが、私たちのボックスが誠之館の4階にあり、遠くまで見渡すことができるところも魅力です(笑)

広報担当 満石 誠人さん (経済学部3年次生)



上段から3列目、左から3人目のオーボエ奏者が満石さん

**Q.直近の目標はありますか？**

A.12月7日(火)に吹田市文化会館メイシアター大ホールにて開催する定期演奏会(18時開場 19時開演)です。当日の曲目など詳細については私たちのウェブサイト(<http://orchestra.musicinfo.co.jp/~kandaioke/>)をご覧ください。

より多くの方に私たちの演奏を聴いて満足していただくために団員全員で一致団結し、日々練習に励んでいます。本番では学生らしい若々しく熱い音楽を演奏できるよう頑張りますのでぜひお越しくください。

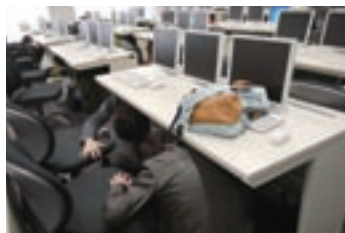
高槻ミュージックキャンパスで地震避難訓練を実施

11月17日、高槻ミュージックキャンパスにて初等部・中等部・高等部の児童・生徒と、社会安全学部・大学院社会安全研究科の学生・院生ならびに教職員、近隣住民を含む一般市民を対象とする地震避難訓練「関大ミュージック防災 Day2010 ～広がり！みんなの安全・安心！～」を実施した。

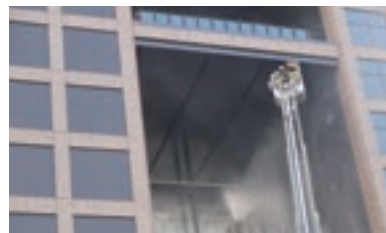
訓練では、授業中に高槻有馬構造線を震源地とするマグニチュード7.3の巨大地震が発生したと想定し、避難や安否確認、初期消火などの訓練を行ったほか、高槻市と連携し、高槻市消防本部による放水

訓練や、はしご車による10階空中広場からの救出訓練などを行うなど、地震発生時の避難体制をあらためて確認した。

今後も、災害時の緊急避難場所として



訓練開始直後に避難する学生たち



はしご車による救出訓練ならびに放水訓練の様子

の役割を担う高槻ミュージックキャンパスにおいて、定期的に避難訓練を実施する予定である。

政策創造学部が「政策創造の甲子園」を開催、優秀者を表彰

10月30日、政策創造学部が全国の高校生から政策分野に関わる独創的かつ実現可能性の高い調査・研究論文を募集し、優秀者に表彰を行う「政策創造の甲子園—高校生の自主研究発表会—」表彰式を開催した。この「政策創造の甲子園」は、政策創造学部が創設4年目を迎え、今年度初めて卒業生が誕生することを機に、学部の認知向上や高校生に対する研究発表の場を提供することを目的に開催されたもので、「2010年わたしのマニフェスト」をメインテーマに、全国の高校生に2000字から3000字程度の研究論文を募集した。

募集期間中、本学で開催したオープンキャンパスにおいて、政策創造学部イベントとして「模擬ゼミ」を開催し、その中でPR活動を行った。

募集は、9月10日に締め切られ、選考の結果、最優秀賞は近江高等学校2

年生の松田琢哉さんが、優秀賞は城星学園高等学校2年生の岡田巴菜さんがそれぞれ受賞した。



左から、亀田健二政策創造学部教授、倉田薫客員教授、松田琢哉さん、岡田巴菜さん、奥和義政策創造学部長、内藤友紀政策創造学部助教、橋口勝利政策創造学部准教授

人間健康学部が開設記念シンポジウムを開催

関西大学は、2010年4月に、人間の「こころ」「からだ」「くらし」を総合的にとらえ、人間の幸福を実現するための健康に関わる諸問題の解決方法を探究する人間健康学部を開設した。その開設を記念し、国際日本文化研究センター名誉教授の山折哲雄氏ならびに元環境事務次官の炭谷茂氏をお迎えして「生きることと向き合う いのちと向き合う」をテーマとしたシンポジウムを12月12日(日)に千里山キャンパスで開催する。

堺キャンパスでチャリティーフットサルを開催

石川美沙さん(経済学部4年次生)が代表を務める活動団体「COBALT(コバルト)」と加藤宏人さん(人間健康学部1年次生)が代表を務める堺キャンパス準登録団体「サッカーサークル Sakai United」がタッグを組んで、11月14日にチャリティーフットサル大会「KICK THE MINE CUP 関西 COBALT x Sakai United」を開催し、大会の収益金の一部をタイやカンボジアで地雷撤去活動を行うNGO団体に寄付を行った。

これまでCOBALTはチャリティーフットサルを3度開催し、その収益金の一部として合計186,000円をNGO団体に寄付するなど、スポーツを通じてできる社会貢献を実践している。一方、Sakai Unitedは今年度人間健康学部に入学した1年次生で結成されたフットサル・サッカーサークルで、この大会運営の経験を今後の堺市への地域貢献などの取組に生かしていく。

大会当日は、タイやカンボジアにおける地雷埋設の現状や、地雷の展示ブースなどが設けられたほか、今年8月に現地を訪問した時の様子を展示した。フットサル大会には、大学生を中心に16チーム約100人がエントリーし、熱戦が繰り広げられた。

これまでの大会は、いずれも本学以外で開催されてきたが、本年4月に開催された本学協賛の堺シティマラソンにおいて、人間健康学部の学生が大会運営に関わっている姿を知り、健康で笑える、心ゆたかな暮らしを実現する人間健康学部の理念に共感。堺キャンパスでの開催を強く希望し、実現させた。

当日は、Sakai Unitedが大会運営の一部を担ったほか、笑いとユーモアを研究する同キャンパス準登録団体「笑劇団そい」(代表：人間健康学部1年次生 石川瑞希さん)が大会の合間にコントを披露するなど、人間健康学部の学生が大会に協力した。

COBALT代表の石川さんは、「楽しむことが誰かのためになるということに参加者1人ひとりに考えてもらうとともに、さまざまな方法で今後も社会に貢献していきたい」と、継続して活動していく意気込みを語った。



チャリティーフットサルの趣旨を説明する石川美沙さん(右から3人目)

第30回「地方の時代」映像祭2010を開催・グランプリ作品が決定

11月20～26日までの日程で、千里山キャンパスにて第30回「地方の時代」映像祭2010(主催:日本放送協会、財団法人日本民間放送連盟、関西大学、吹田市)を開催した。

11月20日の贈賞式では、196のコンクール参加作品の中から、中部日本放送制作の「笑ってさよなら～四畳半下請け工場の日々～」がグランプリに輝いた。また、市民・学生・自治体部門の優秀賞に本学映画研究部が制作した「23歳、職業：革命家」が選ばれ、阪口善雄吹田市長から表彰状が贈呈された。また、映像祭開催期間中、グランプリ作

品の上映やシンポジウムを行ったほか、第30回の開催となることを記念して、過去のグランプリ作品を上映するなど、「地方」のこえ、「地域」のこころを伝えてきた「地方の時代」映像祭が多くの参加者にぎわった。



贈賞式の様子

受賞

福田幸史さんが応用物理学会講演奨励賞を受賞

9月14日に開催された第28回(2010年春季)応用物理学会において、福田幸史さん(理工学研究科M1)が講演奨励賞を受賞した。

福田さんが講演した論文テーマは「血液脈派に対するアルコール摂取の影響の

分光学的評価」。被験者がアルコール摂取する前後で得られた血液脈派をサンプリングした後にFFT解析を行い、アルコール摂取が血液脈派スペクトルに及ぼす影響を研究発表した。

福田さんは、「実験結果をもとにさらに研究を進め、将来は酒気帯び運転や飲酒運転の検知に活用できるようにするなど、実用化に向けた取組を進めていきたい」と今後の抱負を語った。

